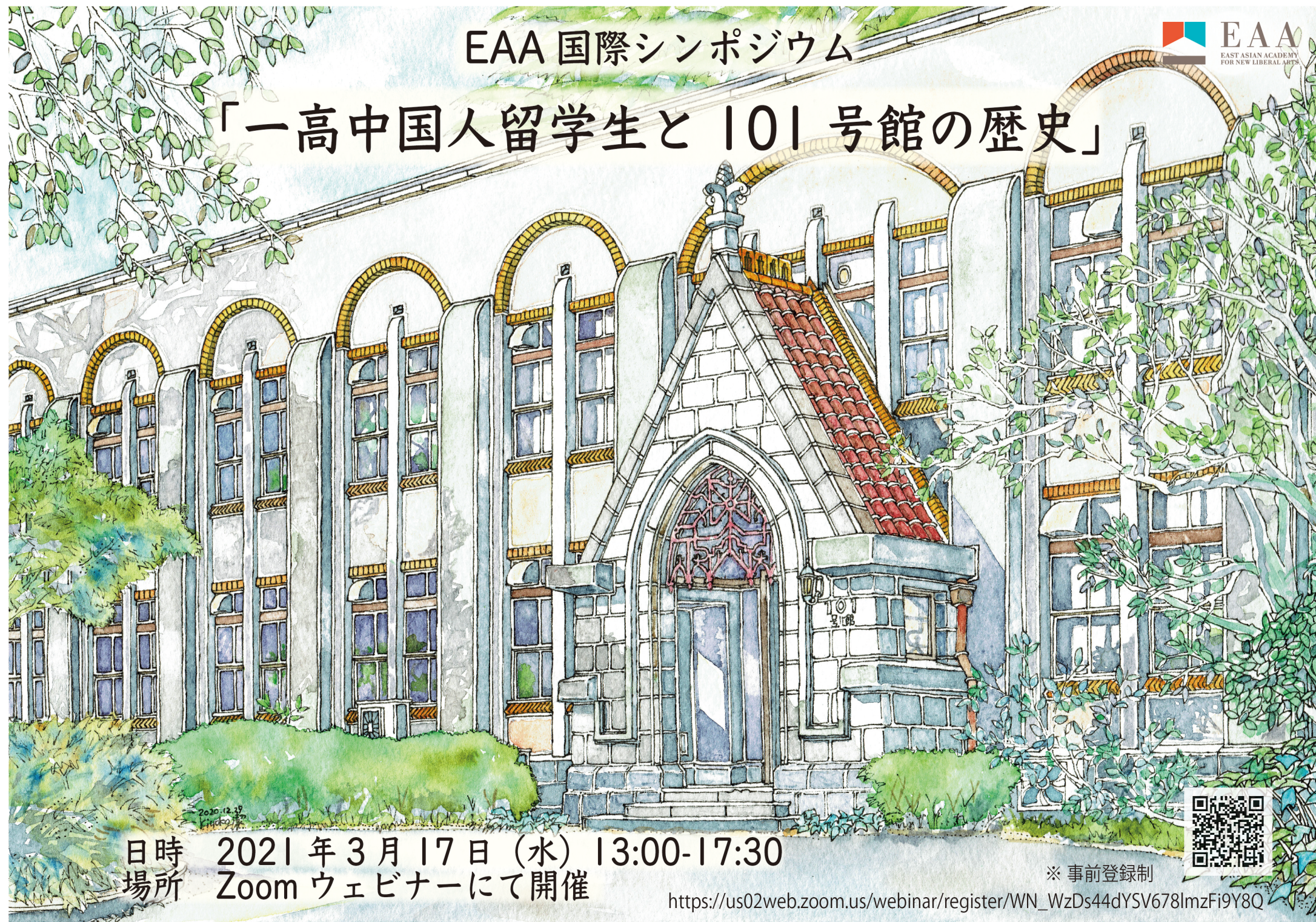


EAA 国際シンポジウム



「一高中国人留学生と101号館の歴史」



日時 2021年3月17日(水) 13:00-17:30
場所 Zoom ウェビナーにて開催

※ 事前登録制



https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_WzDs44dYSV678lmzFi9Y8Q

EAA 国際シンポジウム「一高中国人留学生と 101 号館の歴史」

日時 2021 年 3 月 17 日 (水) 13:00 ~ 17:30 場所 Zoom ウェビナーにて開催

13:00 ~

開会の辞：太田邦史（東京大学大学院総合文化研究科長）

挨拶：中島隆博（東京大学東アジア藝文書院院長）

開催趣旨：宇野瑞木（東京大学東アジア藝文書院・特任研究員）

司会：石井剛（東京大学東アジア藝文書院副院長）

13:20 ~ 基調講演 1

大里浩秋（神奈川大学名誉教授）「中国人日本留学の歴史に思うこと」

14:00 ~ 基調講演 2

汪婉（北京大学国際戦略研究院理事 / 東京大学グローバル・アドバイザー・ボード委員）

「駒場で留学体験——東大は開かれている」

15:00 ~ パネル「特設予科・高等科及び当時の中国人留学生について」

司会：石井剛

特別講演 韓立冬（北京語言大学漢語国際学部漢語学院教師）

「一高の中国人留学生教育の制度的変遷」

15:30 ~

研究発表 1 田村隆（東京大学大学院総合文化研究科准教授）

「狩野亨吉文書の清国留学生資料」

研究発表 2 薩日娜（上海交通大学科学史与科学文化研究院教授）

「服部宇之吉と一高に留学した京師大学堂の学生たち」

研究発表 3 高原智史（東京大学大学院総合文化研究科博士後期課程、東アジア藝文書院 RA）

「森巻吉と中国人留学生」

研究発表 4 孫安石（神奈川大学外国語学部教授）

「清末から民国時期の日本留学案内書の系譜——章宗祥『日本遊学指南』を中心に」

16:50 ~ ディスカッション・全体討議

司会：宇野瑞木

ディスカッサント：石井剛

ディスカッサント：岡本拓司（東京大学大学院総合文化研究科教授）

17:30 閉会の辞：石井剛

101 号館は、1936 年に第一高等学校にて中国人留学生が学ぶ「特設高等科」専用の講義棟として建てられました。おととしの 2019 年 4 月に発足した東京大学と北京大学の共同教育研究プロジェクトである東アジア藝文書院（EAA）では、この 101 号館にオフィスを構えたことを機縁とし、この貴重な建物を中心に、駒場に刻まれた日中教育史を紐解く展示を企画しました。これを記念して、このたび一高を中心とした中国人留学生の歴史に関する国際シンポジウムを開催する運びとなりました。本シンポジウムにおける歴史からの学びが、未来への記憶の継承と新しい学問の礎となれればと願っております。

※ご参加される方は、こちらの QR コード、あるいは以下の URL よりご登録ください。



https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_WzDs44dYSV678lmzFi9Y8Q

使用言語：日本語、主催：東京大学東アジア藝文書院（EAA）